

第 5 区

定数 21 名

候補者 21 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 鈴木 修司 2. 1965/9/27
3. 東京医科大学茨城医療センター 消化器外科
4. 1990 年筑波大学医学専門学群卒業, 1990 年 5 月東京女子医科大学消化器外科入局, 1994 年 4 月東京女子医科大学消化器外科助手, 同講師を経て 2015 年 6 月より東京医科大学消化器外科学分野主任教授
5. 医師不足地方の地域医療において救急医療体制の維持を果たしながら, 高難度手術の均てん化を推進いたします。また, 外科医師不足を改善すべく, 学生, 研修医教育の推進と外科学の魅力の発信をまいります。
6. 現職

1. 高野 重紹 2. 1971/10/22
3. 千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科
4. 97 年 千葉大学医学部卒業
07 年 同病院 肝胆膵外科 助教
10 年 ペンシルヴァニア大学 客員助教
14 年 同病院 助教
20 年 同病院 講師
22 年 千葉大学臓器制御外科 講師
23 年 同病院 診療准教授
5. 新たな外科学のエビデンスの創出を目指し, 研究・臨床・教育を通じた活動, 今後の外科学の発展に寄与できるよう邁進して行く所存です。特に, academic surgeon の育成と研究を重点的に取り組みます。
6. 現職

1. 早野 康一 2. 1973/3/12
3. 千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学
4. 2000 年千葉大学医学部卒業, 千葉大学第二外科入局
2006 年千葉大学大学院博士課程修了
2015 年千葉大学医学部食道・胃腸外科助教
2018 年千葉大学医学部先端応用外科学講師
5. 得意とする画像研究を応用し, 新しい工夫を創造することで外科治療成績を向上させられるよう尽力します。また, その工夫を世界に発信し, 次代へ伝えることで日本の外科学の発展に貢献したいと考えています。
6. 現職

1. 吉野 一郎 2. 1962/4/21
3. 国際医療福祉大学 成田病院
4. 1987 年九大卒業, 学位取得, 留学の後, 1994 年 産業医大第二外科, 2000 年九州大学消化器・総合外科, 2007 年千葉大学呼吸器病態外科学教授に就任。2023 年より国際医療福祉大学成田病院病院長。
5. 2008 年より代議員として臨床研究委員会, 教育委員会, 国際委員会等の委員, 2022 年より理事として保険診療委員会委員長を務めてまいりました。外科医療の発展のため, 尽力したいと存じます。
6. 現職

1. 大平 学 2. 1971/4/14
3. 千葉大学大学院医学研究院先端応用外科
4. 平成 8 年千葉大学医学部を卒業し, 同年千葉大学第 2 外科入局。関連病院出張後に帰局し, 平成 16 年に医学博士取得。出張後平成 19 年に帰局。平成 27 年より千葉大学先端応用外科講師となり, 現在に至る。
5. 近年の深刻な外科医不足を解決すべく, 医学生, 研修医が外科医になりたいと思えるような魅力の向上に尽力致します。また, 外科医待遇改善を目指した学会としての活動にも積極的に関与していきたいと考えています。
6. 現職

1. 大塚 将之 2. 1964/2/10
3. 千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学
4. 1996 年千葉大学大学院医学研究科修了
1996 年ベルギー ルーヴェンカソリック大学 研究員
2001 年千葉大学第一外科助手
2008 年千葉大学肝胆膵外科講師
2016 年千葉大学大学院医学研究院教授
5. 外科医の減少, 外科医の労働環境, 医療安全など課題が多いなかで日本外科学会の役割はますます重要になると考えます。少しでも課題解決に貢献できるよう尽力し, 日本外科学会の発展に貢献したいと思います。
6. 現職

1. 鈴木 秀海 2. 1976/10/24
3. 千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学
4. 2001年に千葉大学呼吸器外科に入局しました。2008年に学位を取得し、2010年から米国に留学しました。2012年より同大学で助教、講師、准教授を務め、2024年より教授を務めております。
5. ダイバーシティ推進委員やブランディング委員等で多くの学びと刺激をいただきました。微力ではありますが、日本外科学会と外科医の環境改善に少しでも貢献できればと考えております。
6. 現職

1. 平松 祐司 2. 1961/6/21
3. 筑波大学心臓血管外科
4. 筑波大学卒。小児心臓外科専門。国内での研鑽、ペンシルバニア大学留学などを経て筑波大学教員に。2015年心臓血管外科教授。その後副病院長、病院長、副学長を歴任。
5. 国立大学附属病院の経営改善のための施策と大学教員の待遇改善を2本柱として、次世代の外科医が安心して教育・研究・臨床に専念できる労働環境整備に尽力したい。
6. 現職

1. 佐藤 幸夫 2. 1963/11/5
3. 筑波大学医学医療系 呼吸器外科学
4. 1988年筑波大学医学専門学群卒業
1999年筑波大学講師臨床医学系
2002年自治医科大学呼吸器外科講師
2008年自治医科大学呼吸器外科准教授
2009年筑波大学呼吸器外科教授
5. 外科医の待遇改善・専門医制度の改善を通じ、若手外科医の増加・外科学の発展に貢献するよう尽力します
6. 現職

1. 小田 竜也 2. 1964/1/16
3. 筑波大学 消化器外科
4. 1988筑波大医卒、国がんリサレジ、国がん東肝胆膵外科を経て2002筑波大消化器外科講師2012教授2019教室主任教授、手術部長、2021副院長、臨床医学域長、JSPS主任研究員、茨城外科学会会長
5. 臨床・基礎研究（文）と臨床技術（武）の両道をモットーとし、アカデミック外科医の養成を推進。大学、施設の壁を越えて茨城県、千葉県全域の外科医療に責任を果たす。学術発展と地域医療の充実の両面に貢献したい
6. 再任

1. 板野 理 2. 1967/5/25
3. 国際医療福祉大学成田病院
4. 1992年慶應義塾大学医学部卒業。同外科学入局。2003年米国Cornell大学 2012年慶應義塾大学外科専任講師 2016年同准教授 2017年国際医療福祉大学消化器外科 主任教授
5. 私はこれまで消化器・肝胆膵移植領域で低侵襲治療の安全な普及に努め、臨床・研究・教育に取り組んでまいりました。今後も外科の魅力を発信し、学生・研修医の志を育み、外科学の発展に尽力いたします。
6. 新任

1. 増本 幸二 2. 1964/2/1
3. 筑波大学 医学医療系 小児外科
4. 1991九州大学卒業
1991九州大学小児外科、関連病院で研修
2002オランダ エラスムス大学ソフィア小児病院留学
2004九州大学講師
2009福岡大学講師・准教授
2011筑波大学小児外科教授
5. 近年、少子化が進み対象患者が少なくなる一方、小児外科手術や管理はより高度になっています。小児外科医の魅力を伝え、高い技術と広い視野を持った小児外科医師の育成のため努力したいと思います。
6. 現職

1. 菱木 知郎 2. 1968/8/1
3. 千葉大学大学院医学研究院小児外科学
4. 千葉大学 H5 年卒, 千葉大学小児外科教室に入局. H12 フィラデルフィア小児病院留学, H18 千葉大学助教, H19 同講師. H25 より千葉県こども病院主任医長, H28 より成育医療センター診療部長, R2 より現職
5. 本年度より日本小児外科学会副理事長を拝命しております. 外科全体の再興のために, 外科医と小児外科医双方の立場から, 会員の皆様のご意向を尊重しつつ, 特にサブスペ専門医制度の対応に尽力します.
6. 現職

1. 片桐 聡 2. 1964/8/4
3. 東京女子医科大学附属八千代医療センター
4. H2 年 聖マリアンナ医科大学卒業 東京女子医科大学 消化器外科入局
H22 年 講師
H27 年 東京女子医科大学八千代医療センター 消化器外科長
准教授
R5 年 教授 副院長
R6 年 病院長
5. 現在の医療が直面している, 診療報酬の抑制, 医療人材不足による人件費高騰, 医材・医療機器の値上げ, 少子高齢化に伴う患者数の減少に対して, 学会として改善策を見出せるように活動を行なっていきたいと思います.
6. 新任

1. 榎本 剛史 2. 1969/12/4
3. 筑波大学消化器外科
4. 1995 年 筑波大学医学専門学群卒業
1995 年 筑波大学附属病院 外科レジデント
2004 年 筑波大学大学院博士課程修了
2012 年 筑波大学消化器外科 講師
2020 年 同 先進消化器外科 教授
5. 日本外科学会および千葉・茨城の外科医療の発展のため, 微力ながら貢献させていただきたいと存じます. よろしく願い申し上げます.
6. 現職

1. 中村 慶春 2. 1966/1/24
3. 日本医科大学千葉北総病院
4. 1990 年日本医科大学第一外科に入局. 講師, 准教授, 神栖済生会病院長(出向)を経て 2023 年 4 月同大学千葉北総病院外科部長・副院長に就任. 2025 年 4 月日本医科大学外科学(消化器外科学)教授に就任.
5. 外科医療の質向上と若手育成に尽力し, 日本外科学会のさらなる発展に貢献させて頂きたいと考えております. そして現場の声を代弁し, 他の代議員の先生方と協調しつつより良い医療環境の構築を目指してまいります.
6. 新任

1. 高屋敷 吏 2. 1970/8/26
3. 千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学
4. 1996 年 千葉大学第一外科入局
2004 年 Research Fellow (Washington Univ. USA)
2007 年 千葉大学臓器制御外科助教
2017 年 同講師
2023 年 同診療准教授
5. 代議員としての学術活動に加えて, 今後は次代を担う若手外科医の育成, 医学生に外科の魅力を伝えて外科医を充足させることも積極的に推し進め, 本学会および外科学の発展のために尽力していきます.
6. 現職

1. 丸山 通広 2. 1964/12/25
3. 千葉大学医学部附属病院
4. 1989 年千葉大学卒業
以降千葉大学第二外科及び関連施設
1998 年カリフォルニア大学ロサンゼルス校留学
2012 年藤田医科大学准教授
2018 年千葉大学食道胃腸外科講師
5. これまで臓器移植医療を中心に働いてきました. 移植医療における労働環境の改善を通して, 若手移植医, 女性移植医を育成し, より良い移植医療を患者に提供出来るように全力を尽くします.
6. 新任

1. 松宮 護郎 2. 1961/9/26
3. 千葉大学大学院医学研究院心臓血管外科学
4. 1986 年大阪大学医学部卒業, 1994 年大阪大学大学院博士課程(第一外科) 卒業, クリーブランドクリニッククリニカルフェロー等を経て 1999 年大阪大学心臓血管外科, 2007 年同准教授, 2009 年より現職
5. 外科医の未来が明るいものであり続け, 多くの若い医師に本会に入ってきてもらえるよう努力させていただきたく存じます. 外科医の処遇改善, 働き方改革への対応は急務であり, 早急に取り組んでいきたいと考えます.
6. 現職

1. 松井由紀子 2. 1969/4/30
3. 千葉大学呼吸器外科/総合医療教育センター
4. 1995 年に千葉大学を卒業し呼吸器外科教室に入局しました. 2003 年に学位取得, 千葉県がんセンター等で勤務後, 2023 年より千葉大学呼吸器外科および総合医療教育センター特任助教として勤務しております.
5. 私は, 呼吸器外科医として研鑽を積みながら出産・育児を経験し, 多様な立場で医療に関わって参りました. 総務委員の業務に携わらせていただいた経験も活かし, 微力ながら本学会の活動に貢献したいと考えております.
6. 現職

1. 坂東 裕子 2. 1972/1/24
3. 筑波大学
4. 1996 年 筑波大学医学専門学群卒業
2004 年 東京医科歯科大学大学院博士課程終了
1996 年 都立駒込病院研修医
2001 年 都立駒込病院外科医員
2005 年～ 筑波大学乳腺内分泌外科, 現准教授
5. 日々の乳腺外科診療と研究・教育に携わる立場から, 地域医療の質向上と若手育成に力を注ぎ, 外科学会の発展に貢献していきます. 皆さまと共に学びながら, 臨床と教育をつなぐ架け橋となれるよう努めてまいります.
6. 現職